

作業の省力化・効率化に適した昇降式移動足場 **アップスター**

使用上のご注意

US- 25S、25SU
US- 36S、36SU

使用前に必ずお読み下さい。 製造元：日鐵住金建材株式会社

- ①組立作業主任者（指揮者）は、作業員の保護帽の着用等安全服装を確認の上、作業内容・安全上の諸注意を説明し徹底させて下さい。
- ②使用場所の平坦度、水平、及び上部空間の安全性を確認し、**水平な場所**で使用して下さい。
- ③組立・解体手順を必ず守って下さい。
- ④最大積載荷重 **1310N（133kgf）**以下（作業員を含む）で使用して下さい。
- ⑤不意の移動・転倒防止のため、車輪はすべて**ブレーキを効かせ**、アウトリガーは必ず**正規の方向に広げて**使用して下さい。
- ⑥人を乗せたまま、移動させないで下さい。又、移動する際は原則として作業床を最低の高さまで下降してから行って下さい。
- ⑦複数のアップスターを併置し、その上に足場板等を掛渡して作業床として使用しないで下さい。
- ⑧作業を安全に行うため、作業に必要な照度を確保して下さい。
- ⑨本体吊り上げ時は、車輪の抜け止め防止用の**ボルトを必ず確実に締め付けて**下さい。
- ⑩本体吊り上げ時は作業床を下げ、必ず**下部フレーム**にナイロンスリングを掛けて下さい。
- ⑪上昇・下降操作は、組立手順にも記載の通り、**固定側（「操作時は必ずここを持って下さい」シール貼付側）**にて必ず操作を行って下さい。上昇・下降の際は、スライド枠等の作動部に**手を挟まれないよう**ご注意下さい。
[スライド側にて誤って下降操作を行った場合、スライド材がスムーズに降下せず、さらに無理な力を加えますと、スライド材が変形する恐れがあります。]
- ⑫手摺柱は、蝶ボルトにて**必ず固定**して下さい。
- ⑬作業床への昇降にはタラップを利用し、リトラクタ式墜落阻止器具等をご使用下さい。（墜落阻止器具は手摺柱の根元付近、または中棧手摺（手摺材Ⅰ、Ⅲ）直上の手摺柱に取り付けて下さい）
- ⑭**目的外の用途**には使用しないで下さい。
[作業台の上で脚立・梯子等を使用しないで下さい。又、手摺・巾木等に足をかけて作業しないで下さい。手摺・巾木等が曲がる恐れがあり大変危険です。]

★ 主な仕様

品番	作業床寸法	作業床高さ（mm）	自重	最大積載荷重
US-25S US-25SU	幅 590mm	950、1510、2100、2560	143kg	1310N (133kgf)
US-36S US-36SU	長さ 1500mm	1370、1930、2510 3090、3600	192kg	

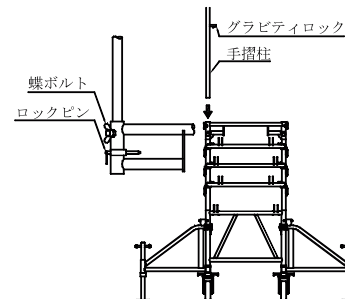
会 社 名	
使用責任者	

アップスター の組立・解体手順

手順書内の図は US-36S を表しています

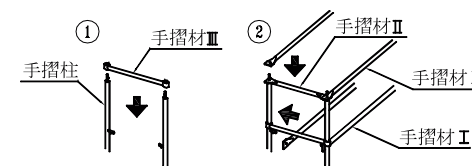
1. 手摺柱の取り付け

グラビティロックが内側方向を向くように、作業床の四隅に差し込み、ロックピンで固定します。



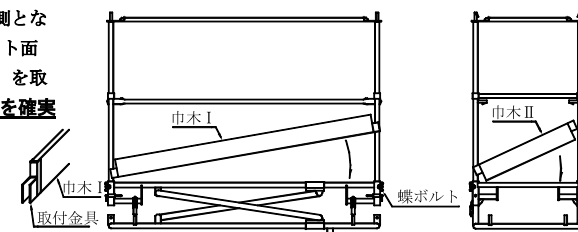
2. 手摺材の取り付け

裏面の手摺材Ⅲ（メガネタイプ）を手摺柱に差し込み、続いて手摺材Ⅱを取り付けます。最後に手摺材Ⅰを4本（上棧・中棧）セットします。



3. 巾木の取り付け

巾木Ⅰ（長い方）を取付金具が下側となるように取り付けます。（フラット面が外側） 続いて巾木Ⅱ（短い方）を取り付けた後、**手摺柱の蝶ボルトを確実に締め付けます。**

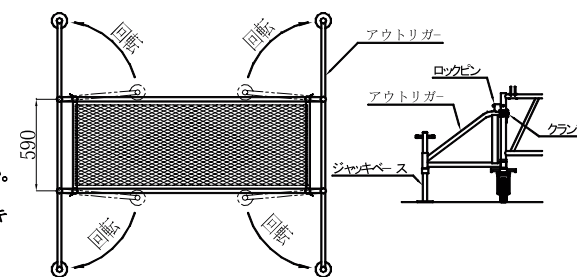


4. アウトリガー の設置

- ① アウトリガー を**アップスターの長手方向と垂直（アウトリガー ロックピンが作動する位置）**になるよう回転させ、**アウトリガー のクランプを確実に締め込み**固定します。（注：アウトリガー ロックピンは US-36 のみの仕様）

- ② 平坦かつ水平な場所で使用して下さい。

- ③ 転倒防止の為、アウトリガーのジャッキベースを接地させます。（アウトリガーは**転倒防止を目的**としています。）



※裏面も必ずお読み下さい。